



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を
込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2025
Vol.243



心の花展

～障害者美術手工芸作品展～

♡ HeART展 ♡

展示

令和7年

11月12日(水)～11月16日(日)

会場：諫早市美術・歴史館 2階企画展示室
(午前10時～午後6時)

11月12日(水)午後2時開始、11月16日(日)午後3時終了

Web展

令和7年

令和8年

11月17日(月)～1月30日(金)

公開場所：諫早市社会福祉協議会ホームページ



みんなで『心の花展』を見に行こう!!

私たちのまちには、障害のある人もない人も、様々な人が一緒に暮らしています。性格も外見も、得意なこと、苦手なこともみんなそれぞれ違うけれどみんなが同じ地域の住民。

障害のあるなしにかかわらず「表現することの楽しさ」を一緒に感じてみませんか。

文化をみんなに



ながさきピース
文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
令和7年9月14日(日)→11月30日(日)

諫早市社会福祉協議会では、障害のある人々による美術・手工芸作品の展覧会「心の花展」HeART展を「ながさきピース文化祭2025」の一環として開催します。

おしらせ

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください!

あなたの
「かんしゃ」
募集します!!

応募方法

右の二次元コードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。今月のイラストはこはちゃん、文字は眞崎 穂津美さんにかいていただきました。ありがとうございます。





心の花展の作品に込めた思いを伺いました

みんなの
作品を見に
来てね！



みんなを元気に！

矢野さんは、子どもの頃から絵を描くことが大好きで、今では、仕事の合間に小さな紙に花や野菜などの絵を5～6枚も描くほど、毎日の楽しみになっています。

描き方は、独自の技法。朝から母親が用意してくれたトマトやリンゴ等を見て出勤。心に残った情景を、色とりどりに即興で描いています。

今回の出展した「ひまわり」の絵は、色がムラにならないように、1色1色がきれいになるように気を付けたとのこと。真っ直ぐ伸びるひまわりにケガや病気をしないように、と願いを込めているそうです。

皆さんに一日一日を元気に過ごしてもらえよう、願いを込めて描きました



矢野 裕介さん



自分の気持ちの思うままに描いてみました！

木場田 義則さん

思うまま自由に描く ワクワク感

木場田さんにとって、ペン画に向き合う時間は「自分を自由に表現できる時間」です。少しずつ線を重ね、形が浮かび上がっていく過程に楽しさを感じています。「描き進めるごとに、自分の世界が広がっていくようでワクワクします」と笑顔で語ります。また、周りの人に完成した作品を褒めてもらえることも大きな喜びだといいます。ペン画を通じて、自分を表現するだけでなく、人とのつながりを感じられているそうです。

ビーズが彩る幸せな時間

井手さんの作品は、細かなビーズを一つひとつ並べて絵柄を仕上げる「ダイヤモンドアート」です。地道な作業ですが、少しずつ形になっていく様子や完成したときの喜びと達成感は格別だそうです。ビーズを丁寧に貼り重ねる時間は、井手さんにとって心安らぐ幸せなひとときだそうです。「作品が出来上がっていく過程そのものが楽しいんです」と話す井手さん。ダイヤモンドアートは井手さんの週末の楽しみとなっています。今後は、アイロンビーズの制作にも挑戦してみたいと意欲を語っていました。

※アイロンビーズ…小さな筒状のプラスチックビーズをプレートに並べ、アイロンで溶かして作る工作



一つひとつのビーズに思いを込めて作っています

井手 志津子さん

カラフルな色が気持ちを明るく☆してくれます



横山 幸次さん

絵を見て明るい気持ちに

横山さんは、2年半ほど前から塗り絵を始めました。なんとなく始めた塗り絵でしたが、明るいポップな色で塗ると自身の気持ちも自然と明るくなり、今では塗り絵が楽しみに♪ 固定観念にとらわれず、自由な発想で、その時の気持ちで色を決めているそうです。「カラフルな色合いを見ながら次に何色にしようか考えるのが楽しみ。絵をみた人が明るい気持ちになってもらえたら嬉しい」と笑顔で話してくれました。



今年で39回目を迎える「心の花展」(HeART展)が、ながさきピース文化祭2025の一事業として、諫早市美術・歴史館で開催されます。

この作品展は、障害のある人々の作品を通じて「心に花が咲くような温かい気持ちを届けたい」という願いから始まりました。

会場には、絵画・書・編物・手工芸など、約100点にのぼる多彩な作品が一堂に展示されます。色彩豊かな絵画や力強い書、繊細な編物や温もりある手工芸など、どの作品も独創性にあふれ、制作者一人ひとりの思いや個性が丁寧に表現されています。その表現は、きっと観る人の心を魅了し、感動を届けてくれます。

ぜひ会場に足をお運びいただき、魅力あふれる作品の数々に触れて、みんなで心に花を咲かせましょう！



詳しくは
コチラ



障害のある当事者からのメッセージ ～みなさんにわかってほしいこと～



第一印象にとらわれず

いろいろな面を見てほしい

——精神障害とともに自分らしく—— 川崎 浩さん



45歳の時、川崎さんは統合失調症を発症しました。不安感や不眠に悩み、妄想や幻聴を経験。約2年間の精神科病院での治療を経て、支援を受けながら地域での生活を再スタートされたそうです。

現在は、高齢者の居場所づくりや相談に応じるボランティア「道しるべ」で、会場設営を手伝い、利用者との会話を楽しんでいます。同じボランティア仲間の対応を見て、「傾聴」の大切さを痛感し、それがきっかけとなり、最近では、精神科病院で傾聴ボランティアをするための研修を受けました。今後は、「地域に帰りたいと願う入院患者さんの話を聴き、力になりたい」と目標を語ります。

「第一印象で決めつけないでほしい」と川崎さんは話します。「これは、私なりの考えで、色々な感じ方があると思いますが、その人をいろんな角度から見て、考えに寄り添い、理解してほしい」と願います。人に頼ることもありますが、「自分でできることは自分でしたい」との強い意志もあります。

川崎さんは「人とのつながりと寄り添いを大切に」と心に決め、会話には「ありがとう」「元気にしてる？」と言添えているそうです。「お互いを思いやり、寄り添い合える社会になってほしい」その言葉は、障害の有無を越え、温かなメッセージとして私たちに届きます。

川崎さんの歩みは、「人とのつながり」と「寄り添う心」が生きる力になることを教えてくれます。障害があってもなくても、誰もが地域の大切な仲間です。

小さな声かけや思いやりの一歩が、安心して暮らせるまちを育みます。

社協は、一人ひとりが自分らしく、支え合いながら暮らせる地域づくりを進めています。





諫早市ボランティアセンターに登録している団体を紹介します。

安心して暮らせるまちづくりのために、多くの人が、できることを、できる範囲で、ボランティア活動に取り組んでいます！



精神保健福祉 ボランティアグループ はままつな

活動日 隔月日曜日

私たちは、精神障がいのある人と地域が共に生きる社会をめざして設立しました。

精神を病む人への偏見や誤解は今なお根深く、その多くは病気や障がいに対する正しい知識の不足から生じると考えています。そこで一般市民を対象に福祉講演会を開催し、当事者や家族会、ボランティア、福祉施設関係者が交流しながら理解を深める場をつくっています。さらに、会員同士の学びと親睦も深める研修旅行もしています。

生きづらさを抱えているのは障がいのある人だけではありません。寄り添いあう優しい関係をみんなでき

精神障がいのある人の生活の質を高めることを目指して活動している団体です。

活動場所 諫早市社会福祉会館（定例会）

くっていきましょう。これからも、誰もが生きやすい、やさしい地域づくりを目指し活動を続けたいと思います。



定例会の様子



研修旅行の様子

自主活動 ひまわり

活動日 依頼があった時

私たちは、知的障がい者の親の会です。知的障がいのある人たちが住み慣れた地域で安心して暮らし、地域の皆さんと交流できるよう、外出や余暇活動への参加をサポートしています。

年間を通して、月1回の学習会や余暇活動、年2回の道路や駅の清掃活動を実施。学習会では講師を招き、音楽活動や生け花などを楽しんでいます。

これまで外出が難しかった人も、私たちがサポートすることで、「楽しみが増えた」「自分の意思を伝えられるようになった」と喜んでくださっています。ま

知的障がいのある人たちの外出や余暇活動の参加をサポートする団体です。

活動場所 公共施設、福祉事業所、屋外など

た、みんなで公共交通機関の利用を練習したことで、自力で参加できるようになった人もいます。

昭和51年に立ち上げ、当初は学生ボランティアの協力を得ながら活動してきましたが、現在はボランティアが高齢になってきました。これからも、無理のない形で、皆さんと一緒に活動を続けていきたいと考えています。



清掃活動の様子



Follow me



ISAHAYASYAKYO294

編集
発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <https://isahaya-shakyo.jp>

11月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般
相談

開設日	月曜日～金曜日（祝日を除く）
開設時間	午前10時～午後3時
場所	ふれあい福祉相談センター （諫早市社会福祉会館内） 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料
専門
相談

開設日	11月21日（金） 弁護士
開設時間	午後1時30分～4時
場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。